



各リリースの機能

Smart Install の最初のリリースは Cisco IOS Release 12.2(52)SE でした。

主な機能の最小 Cisco IOS Release

表 1 に、主な機能をサポートするために必要な（最初のリリース後の）最小ソフトウェア リリースを示します。表示されていない機能は、すべてのリリースでサポートされます。

表 1 最初のリリース後に導入された機能と必要な最小 Cisco IOS Release

機能	このリリースの新しいコマンドまたは改訂されたコマンド
Cisco IOS Release 12.2(53)SE	
ディレクタによって自動作成されるコンフィギュレーション ファイルが調整されました。	—
デフォルト イメージをディレクトリのフラッシュ メモリに格納するときに、ディレクタによって自動作成されるイメージリスト ファイル。	
ディレクタが、デフォルト イメージとシード コンフィギュレーション ファイルを格納する TFTP サーバの場合に、 tftp:// ではなく flash: キーワードをサポートします。	

表 1 最初のリリース後に導入された機能と必要な最小 Cisco IOS Release (続き)

機能	このリリースの新しいコマンドまたは改訂されたコマンド
Cisco IOS Release 12.2(55)SE	
クライアントが保留リストに含まれず、設定した加入時間中の場合にのみ、クライアントが加入できるように、Smart Install ネットワークを設定できます。	vstack attach
1 つのクライアントにつき 2 つのバックアップ ファイルをサポートします。	vstack backup
Smart Install クライアントの場合、バックアップをイネーブルにすると、ゼロタッチ交換がサポートされます (スタック交換の場合はいくつかの制限があります)。交換コンフィギュレーション ファイルは、基本機能しかないシード コンフィギュレーション ファイルです。	vstack backup file-server
すべてのイメージリスト ファイルの生成は、ディレクタによって自動実行されます。	vstack join-window close
コンフィギュレーションの同期とディレクタのディレクトリ構造。	vstack join-window mode
Smart Install ネットワークのイメージおよびコンフィギュレーションについて、ファイルのリポジトリを設定します。	vstack on-hold clients install
何も設定しない場合、Smart Install クライアント上のホスト名の変更がサポートされます。	vstack on-hold clients remove
ディレクタが透過的に任意の Smart Install クライアントに接続する機能。	vstack tar
非 Smart Install スイッチのゼロタッチ アップグレードのためのディレクタのポートを 4787 に指定する必要はなくなりました。	vstack untar
オンデマンド ダウンロードの場合、イメージリスト名を指定する必要はありません。代わりに、イメージ名 (flash://image.tar など) を使用できます。	vstack untar/table
イメージおよびシード コンフィギュレーション ファイルの格納では、 tftp/flash/flash1 に加え、 usb キーワードもサポートされるようになりました。	
show vstack config および show vstack status 特権 EXEC コマンドの出力が変更されました。	
Cisco IOS Release 12.2(58)SE	
クライアントのヘルス ステータスを加入時間の拒否状態から許可または保留状態に変更します	vstack join-window-status index <i>client-id</i> {allowed held}
複数のクライアントの同時オンデマンド アップグレード。	vstack download-image tar <i>image_URL</i> {<i>ip_address</i> <i>index name</i>}
ディレクタ データベースから選択したクライアントを削除するオプション。	<i>remote_switch_password</i> [override]
クライアントデバイスのステータス、ヘルス ステータス、およびアップグレードのステータスを表示。 show vstack status コマンドの出力の詳細情報によるより最適なモニタリング。	reload [in <i>time</i>] (インデックス名のキーワード)
新しく定義済みの同種のスタック グループ。	clear vstack {director-db [entry <i>index-number</i>]
クライアントまたはディレクタ デバイス上で Smart Install をディセーブルにしてから再度イネーブルにするコマンド。	[no] vstack (グローバル コンフィギュレーション)